

# こだま Q&A



## Q31

風疹ウイルス抗体検査の違いを教えてください。

## A31

検査方法別に下表にまとめましたので、参考にしてください。

検査方法	ラテックス法 <sup>※1</sup>	HI 法	EIA 法
保険点数	79点	79点	230点
所要日数	1～2日	3～6日	2～4日
陰性(未免疫)時の抗体価	10 IU/ml 未満	8 倍未満	IgM 0.08未満 IgG 2.0未満
ワクチン接種の目安	30 IU/ml 未満	32倍未満	IgG 8.0未満
特徴	HI 法との相関は非常に良好。 <sup>※2</sup>  至急検査でご依頼の場合、半日で結果報告が可能。  ベア血清による判定は不適とされています。	抗体価は症状出現後速やかに上昇。  <ベア血清による測定法> 発疹出現直後(急性期)と発疹出現から2週間後(回復期)の血清を採取し、HI 抗体価を測定します。回復期の抗体価が急性期の4倍以上の上昇を認める場合、風疹の感染が濃厚です。	感染の有無を診断するには IgM を測定。  既往の有無を診断するには IgG を測定。

※1 当検査センター内ではラテックス法で実施しております。

※2 次回 8月号に、風疹検査ラテックス法と HI 法との結果換算表を掲載する予定です。

お問合せ： ☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)

## きょうちボール

今年度より広報委員になりました。私の所属する D.I 係では、集荷依頼、検査についてのお問い合わせなどお電話でお客様の対応をさせていただいております。迅速かつ正確に、丁寧な対応を心がけています。

先日、電話対応のレベルアップを図るための講座に参加しました。聴く力・伝える力を鍛えコミュニケーション力を高めることや、“おもてなしの心”で接することなど、マニュアル通りではない、お客様の心に届く電話対応の大切さを学ぶことが出来ました。今回の経験を生かし、さらに“真心”のこもった対応をさせていただきたいと思っています。

片山 智恵子 (広報委員 / 業務渉外課 D.I. 係)

広報委員

谷敷 圭美 / 釘宮 亘 / 熊川 良則 / 片山 智恵子 / 初岡 博 / 高磨 潤

